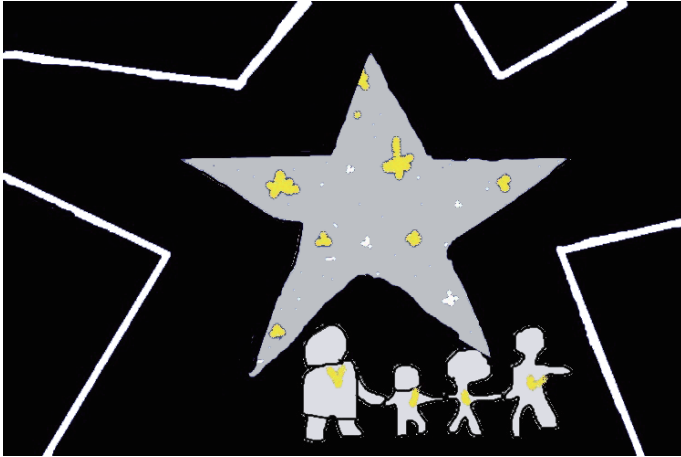


311 星空プロジェクト



311 東日本大地震から 1 年

私たちはあの日のことを決して忘れない

鎮魂の思いを、顔をあげる勇気に

みんなの思いをつなげていこう！

3月11日の夜。あの時から、ちょうど6時間後の**夜8時46分**になったら、**部屋のあかりをみんなで一斉に消してみませんか？**というお話です。みんなでいっしょに1時間です。1時間が難しければ、ほんの数分でもいいんです。そして、たとえば、キャンドルを灯し、家族や大事な人と会話をしましょう。犠牲になられたおおくの方々に、追悼の祈りを捧げましょう。失われた大切な命と、かけがえのない思い出が、わたしたちのなかで再び輝きだすように。

街があかりを失ったあの日、私たちはスイッチを切ることが出来ませんでした。あかりが戻るまでに数日かかりました。戻ったあかりに安堵と有り難さを感じました。あれから一年、復興にはまだまだ遠いけど、今度は自分の意志でひとときあかりを消し、その後あかりがついた時の“当たり前”の有り難さ”を感じましょう。

満天の星空は、私たちの“想いの象徴”です。

あの日を経験した私たちだからこそ、わかったことがあります。
“本来見えるはずなのに見えなくなってしまったものがあることを”

あの日この震災を知り泣いてくれた、祈ってくれた多くの方が世界中にいました。私たちの思いが、星空を通じて世界中の人々につながっていったならと、思います。

生き残った私たちにできる事を、夜空の星に誓いませんか。
それを希望の輝きとして、
被災地から日本中へ、世界へ。そして、未来へ、つなげていきましょう。

311 同じ時間とともに_____。

311 星空プロジェクトは、あの日気づいたことを未来に伝えていきたいと思った市民の集まりです。現在、その時間にエフエムいずみさんが特別番組を放送したり、やまがた天文台では星空観測会を開催したり小学校で教育活動の一環として取り組んでいただいたり、各地でライトダウンのご協力をいただいております。詳細は、公式 HP に随時公開していきますので、ぜひご覧いただき、ご参加ください。